

令和 7 年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

2026 年 4 月 1 日

団体所在地 広島県安芸郡府中町本町 1-14-12

団体の名称 社会福祉法人昭和愛育会 第二府中ひかり保育園

職・氏名 理事長 原 孝

1 活動報告

【4 月～6 月】(春季)

- ・サクランボ収穫
- ・夏野菜苗植え
- ・グリーンピース収穫
- ・玉ねぎ収穫
- ・サツマイモ苗植え
- ・収穫した野菜を給食で提供

【7 月～9 月】(夏季)

- ・ぶどう収穫
- ・夏野菜(トマト・ピーマン・きゅうり等)収穫
- ・大根種まき
- ・収穫した野菜を給食で提供
- ・ビワ収穫

【10 月～12 月】(秋季)

- ・さつまいも、じゃがいも収穫
- ・玉ねぎ、グリーンピース苗植え
- ・収穫した野菜を給食で提供
- ・かき収穫

【1 月～3 月】(冬季)

- ・おちば遊び
- ・大根、かぶ収穫
- ・じゃがいも種芋植え
- ・収穫した野菜を給食で提供

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

ひかりっこ農園で大きく育てた玉ねぎを収穫する。
保育園に持ち帰り、給食でカレーにさせていただく。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

ビオトープで実ったビワを自分たちで収穫し、穫れたての果物のおいしさを味わう。
また、普段見ることができないビワのできかたを観察する。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

昨年不作だったため収穫できなかった柿を、今年はビオトープで収穫し、穫れたての果物のおいしさを味わう。

また、普段見ることができない柿のできかたを観察する。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

こどもたちが種を植えた大根が、土の中でどのように生育しているか学ぶ。抜くときに、葉っぱを引っ張ると、途中で折れたり、抜けなかったりするため、自分たちで工夫することを学ぶ。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

収穫した野菜を、給食でどのように提供したらこどもたちが喜んで食べるか、栄養士、保育士が参加し毎月1回給食検討会を開き、メニューの充実を図っている。

- ・ 地域との関わりについて

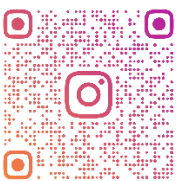
老人会と連携し、日ごろの農園の管理を手伝っていただき、収穫の際には、こどもたちと一緒に触れ合いながら、収穫方法、生育段階等を教えていただく。
また、専門家からビオトープに適してる植物、果実の生育方法を学び、こどもたちの保育、学びの場に繋がるよう適宜見直しを図っている。

- ・ 保護者との関わりについて

収穫月に保護者に保育参加していただき、収穫の手伝いをしていただきながら、こどもたちと一緒に収穫を楽しんでいただく。

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

U R L	 HIKARI_HOIKU
-------------	---